

## 【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	10.0%	10.2%	102.0%	e	・指標値は、常設展並びにホール・野外での常設、ひな祭りイベント等での活用実績(8.8%)をもとに設定 ・展覧会及び教育普及事業等での稼働率 ・その他、アートカードを用いたコレクションの鑑賞学習機会の提供 せたな町教委事業、指導者研修での模擬授業、中学校への貸出を実施
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					・貸出状況1点(2件) ※当館を含む巡回展にて2施設へ貸出。 ・国内の公立美術館で組織する「美術館連絡協議会」の企画案として、「金子鷗亭と書の世界」を提案しているが、開催希望がないまま推移。道外美術館ではなく、道南の自治体へPRし、教育活動と結びつけた活用を提案するなど、活用の方向性を検討する必要がある。
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				d	・購入0点、受贈4点 いずれも所蔵者から活用希望が寄せられたものであり、「道南の美術」「書」については、引き続き、地域の所蔵者と密接なコミュニケーションを図りながら、受贈での収集に努めていきたい。 ・平成23年から継続して希望をあげている折原久左工門の金工作品の購入が実現していない。 ・「文字と記号に関わる現代美術」のテーマについては、寄贈の可能性が低く、購入が認められないままでは、充実を図ることが困難。購入実現についての更なる働きかけが必要。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				d	・月に1度の虫害トラップの設置と捕虫状況の確認、年に2回の収蔵庫の清掃、荷解き室入り口、収蔵庫入り口、トラックヤード上がり口への粘着シート設置、耐震ベルトの設置などを、平成29年度に実施。清掃後の捕虫数が減少するなど、漸進的ではあるが、保管状況の改善が見られる。 ・作品保管棚の設置が、作品数の増加に追いつかず、多数の作品が、床に直置き状況となっているため、清掃の成果が限定的なものとなっている。棚の耐震ベルトの設置も一部にとどまっており、棚の増設、耐震ベルトの増設が必要。

## 【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
D	コレクションの他の美術館企画展での活用については、殆ど実績がない状況であることから、方向性の再検討が必要。 コレクション収集、保管状況の改善には、計画的な方策の検討が必要。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

## 【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数(人)	18,000人	19,896人	110.5%	c	<p>・概ね目標を達成しているが、特別展観覧者の4割弱が常設展を観覧しておらず、何らかの工夫改善が必要。</p> <p>・満足度に関して、当館のコレクションテーマや、作者の概要を知ることのできる表示物を掲示するなど、展示の工夫が必要。</p> <p>※リピート率は目標を達成していないが、初来館者が増加しており、ある面で成果と言える。</p>
	常設展示観覧者の満足度(%)	70.4%	67.7%	96.2%		
	常設展示のリピート率(%)	62.9%	59.0%	93.8%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数(人)	25,000人	31,829人	127.3%	c	<p>・観覧者数は、目標を上回っている。</p> <p>・展覧会別満足度は、「昭和の洋画」69.2%、「そっくりの魔力」89.7%、「田辺三重松展」90.9%、「猫まみれ展」86.2%、「高倉健」87.5%。今後、展示内容について一層の工夫が必要。</p>
	特別展示観覧者の満足度(%)	90.9%	86.6%	95.3%		
	特別展示のリピート率(%)	67.0%	65.5%	97.8%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				c	様々な年代・の興味・関心を高める展覧会企画、ワークシートや解説事業の充実、展示内容に関連する取組(展示室内でのイベント、カフェ・ショップとの連動等)により、幅広い年齢層の鑑賞を促した。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				c	可動作品を実際に動かしてみせる実演タイムの設定や、子ども向けの大きな文字とやさしい表現による解説パネルの掲示、展示内容に関連した、図書の展示・展示室内におけるコンサートやパフォーマンスの開催・造形コーナーの設置等の工夫により、展覧会の内容を多様な角度から理解していただける工夫をした。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし	設定なし		c	その他の館外展示は0件であった。
	その他の館外展示の状況					

## 【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	多彩な展覧会の開催、展示の工夫、関連する教育普及事業の充実などにより新規来館者の拡充につながっている。特別展と常設展の観覧者数に大きな差が出ており、特別展観覧者の所蔵作品への興味・関心を高める工夫が必要。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	81回	84回	103.7%	b	・家族連れを対象にしたファミリー・ツアーや大人向けのギャラリー・ツアー、展示会の内容に応じたワークショップなど、子どもから大人まで様々な世代を対象とした事業を企画し、多様な学習機会を提供した。また、展示室におけるコンサートなど実施方法の工夫により展示会の観覧者数増加につなげている。 ・展示作品と関連させた内容により参加者の興味・関心を高めており、満足度に反映されている。 ・地域との連携・協働により、美術館と函館市内の施設をめぐるツアーや地元レストラン・カフェと連携した講座など、多様な事業企画が可能となった。 ・若年層にとっては、教育普及事業への参加が、展示会鑑賞の入口となっている。
	教育普及プログラムの参加者数(人)	7,500人	13,121人	174.9%		
	教育普及プログラムの満足度(%)	90.0%	97.5%	108.3%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	1,422人	1,648人	115.9%	b	・施設の設計上、図書コーナーが独立されず、スペースも限られており、十分な情報提供ができていないため、利用者数が少ない。 ・ホールに資料閲覧コーナーを設置し、展示会関連図録を自由に閲覧できるようにして工夫している。 ・ホームページ改編、Facebook活用等により、アクセス数が向上している。 (関係団体等と連携した広報をもとに評価) ・(公財)函館市文化・スポーツ財団発行のイベント情報誌「ステップアップ」12回、函館の情報誌「peeps hakodate」特集として1回 ・Facebookの投稿数。 教育普及事業については、道民カレッジ連携講座、HAKODATEまなびと広場に登録。各種事業を報道機関(新聞社、テレビ局、ラジオ局)へPRし、積極的な報道協力を得ている。また、新たに、五稜郭地区文化施設のネットワーク構築を図っている。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度(%)	63.6%	74.1%	116.5%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	36,479件	124,619件	341.6%		
	メールマガジン等発行回数	12回	13回	108.3%		
	ソーシャルメディアの投稿数	100回	78回	78.0%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	教育普及事業の充実、美術情報提供の工夫により概ね目標を達成している。今後は、五稜郭地区の立地条件を活かした情報提供の検討が必要。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

## 【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告				C	・各学芸員の目標を具体的に設定し、調査研究を推進し、研究成果を展覧会運営に活かすことができた。「函館で教鞭を取った韓国人美術教師・孫一峰」については、作品を発見することができた。 ・個人研究については、多忙な日常業務の合間をぬって地道に取り組み、紀要等への発表をめざす必要がある。
	二次資料の状況					・函館市寄託(金子鷗亭旧蔵)本の棚卸し、重複本の整理など、二次資料の整理状況を改善した。

## 【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	調査研究の成果として展覧会の企画の工夫が実現しており概ね目標を達成している。 個人研究分野の実現が課題となっている。

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

## 【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	268人	275人	102.6%	b	<p>展覧会毎に開催する美術研修会、ボランティア研修会の実施に講師として協力し、会員個々のスキルアップを図っている。</p> <p>・日常的な指導・助言、総務会・役員会での事業説明、協働企画などを積極的に推進</p> <p>・学生ボランティアには教育普及事業への参画機会を提供</p> <p>・市立函館博物館・旧相馬邸・高龍寺と連携した「波響ぐるっと4館ツアー」が定員を超える盛況であった。</p> <p>・せたな町と連携し、「素敵にアート教室」に協力。</p> <p>・新たに、五稜郭地区文化施設のネットワーク構築を図っている。</p>
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	1校	1校	100.0%	c	<p>・道教育大函館校のみ。</p> <p>・利用学生が減少傾向にあり、8月にPRチラシを作成し掲示を依頼。</p>
	出張アート教室の延べ参加者数	136人	0人	0.0%		<p>・圏域からの申請なし。出張アート教室のPR方法の工夫が必要。</p>
	指導者研修の延べ参加者数	10人	72人	720.0%		<p>・教員のための鑑賞研修:60名</p> <p>・指導者研修(夏季12名、冬季10):12名</p>
	学校教育活動への対応数	20件	45件	225.0%		<p>中高生を対象としたオリエンテーション・ワークショップ:32件</p> <p>大学生を対象とした博物館学講座・ワークショップ:4件</p> <p>教員を対象とした研修:7件</p> <p>教員向け研修や圏域市町への情報提供により、当館の所蔵作品をはがきサイズのカードにして授業等に活用できる「道南版アートカード」の活用:1町、3校</p>
	参加者・利用者満足度					<p>教員の評価(意見、感想等)をもとに評価</p> <p>・研修プログラムの満足度は高く、要望も多い</p> <p>・学校利用については、距離や交通手段が現場の課題</p>

## 【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	<p>地域・学校との連携・協働については、積極的な働きかけや活躍機会の提供等により高い成果をあげている。</p> <p>ボランティアの育成(市民、学生)については、主体的な活動の継続に向けて、引き続き指導・助言が必要。</p>

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

## 【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の充実度	カフェ利用者の満足度(%)	58.4%	66.7%	114.2%	b	<p>満足度のほか、アンケートから把握した課題とその解決に向けた対策、新たな取組、改善状況、年数回実施しているボランティアへの研修などから評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標値が低いので目標は達成されているが、まだ満足度が低く8割に満たない状況。(満足度は利用者中の割合)</li> <li>・運営やボランティアスタッフに対するクレームは減少傾向</li> <li>・限定スイーツの積極的な企画など、職員と連携し実践</li> </ul>
	ミュージアムショップ利用者満足度(%)	60.4%	72.1%	119.4%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度(%)	85.0%	81.4%	95.8%	c	<p>満足度達成率のほか、アンケートから把握した課題と、その解決に向けた対策、新たな取組、研修状況などから評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート記述に監視や受付対応へのクレームがあり、対応マニュアルの見直し、研修が必要</li> </ul>
	ホスピタリティ向上に向けた取組					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度(%)	86.9%	75.6%	87.0%	d	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内表示、清潔さ、スタッフ対応、図書コーナー、ミュージアムショップ、カフェ、絵本コーナーの満足度の平均値</li> <li>・来館者からの要望～トイレの洋式化、展示室壁の汚れ改善</li> </ul> <p>施設・設備の修繕等の必要な措置については、エントランス、屋外彫刻作品の修繕、収蔵庫棚の整備は先送りの状況となっている。</p>
	施設安全性保持のための必要な措置					

## 【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	<p>社会教育施設としてのサービス提供、ホスピタリティの観点からは概ね目標を達成している。 施設・設備の改修については破損や故障への対応に留まっており、展示室パネル壁やエントランスなど未着手の状況。美術館として整備すべき部分の改修を計画的に進める必要がある。</p>

## 【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E